

[020] 雅俗表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6795083>

出版情報：雅俗. 20, 2021-07-15. 雅俗の会
バージョン：
権利関係：

■同人一覽

天野 聡一	飯倉 洋一	池澤 一郎
磯部 敦	板坂 耀子	井上 敏幸
入口 敦志	岩井 眞實	位田 絵美
王 自強	大久保順子	大島 明秀
大庭 卓也	岡田万里子	尾崎 千佳
樫澤 葉子	柏崎 順子	勝又 基
加藤 弓枝	神永 暁	亀井 森
川平 敏文	神作 研一	菊池 庸介
ロバート キャンヘル		吉良 史明
工藤いずみ	工藤 俊玄	琴 榮辰
久保田啓一	合山林太郎	塩村 耕
白石 良夫	白瀬 浩司	進藤 康子
勢田 道生	園田 豊	高杉 志緒
高橋 昌彦	高山 大毅	田中 道雄
田邊菜穂子	陳 嘉勸	陳 笑薇
中森 康之	中山 成一	西浦 和稔
西田 耕三	丹羽 謙治	沼尻 利通
服部 仁	花田富二夫	浜田 泰彦
伴野 英一	菱岡 憲司	平岡 隆二
平山 聖悟	廣瀬千紗子	藤沢 毅
古相 正美	牧野 宏子	松村 美奈
溝田 直己	三ツ松 誠	宮崎 修多
村上 義明	村田 裕司	盛田 帝子
安永 美恵	柳沢 昌紀	矢野 準
山田 洋嗣	吉田 宰	米谷 隆史
若木 太一	脇山 真衣	

(五十音順)

■後記

冒頭から告知申し上げます。本誌は今年で復刊十周年を迎える。そこで来る十二月二十六日(日)に、「雅俗論のゆくえ」という、記念シンポジウムを企画している。本誌の復刊に多大なご支援をいただいた中野三敏先生の三回忌に寄せる意も込めている。詳細は追って。▼如上、ひとつの節目となる本誌二十号では、「名著巡礼」という新たなコーナーを設けた。若手研究者に、自分が「名著」だと思ふ本を書評してもらおう試みである。新刊本の書評はふつうだが、数十年後の再評はあまり聞かない。初回の吉田氏は、中野先生の著書を取りあげた。▼「この三冊」は木越氏。濱田啓介氏・前田愛氏の名前があがるのは納得。『菅原伝授』をあげられたのは少々意外。「私の研究履歴」は藤原氏。近世文学が嫌いだった氏が、次第に「人食い沼」にはまっていく顛末が描かれる。▼今回も本誌初登場の方を中心に紹介する。「論考」の宮川氏は、季吟の花押の変化から彼の人生の転機を読み取る。施氏は、馬琴初期読本『稚枝鳩』『句殿美々記』と典拠の白話との関係を論じた。若手の「スポットライト」は荻原氏。『通俗漢暎軍談』という、アヘン戦争を題材にした珍しい実録について紹介してくれた。連載の学術エッセイは、今回から菱岡氏へバトンタッチ。記憶術の話、芋づる式にいろいろと広がっていきそうなテーマだ。▼本年から「維持同人」と「賛助同人」の別を廃し、一本化する事になった。雅俗研究叢書の執筆権が広がります(会員区分)参照)。また今号から、バックナンバーをネットで閲覧できるように整備していく。本誌が世界中で手軽に閲覧されるようになります(投稿規定)参照)。同人・会員の力作をお待ち申し上げる次第です。(川平)

雅俗 第二十号

令和三年七月十五日 発行

■編集委員会

高橋昌彦 川平敏文 亀井 森
菊池庸介 菱岡憲司 天野聡一

■発行

雅俗の会
(事務局)
〒八一九一〇三九五
福岡市西区元岡七四四
イースト一号館
九州大学文学部 川平研究室内
電話 092-802-5052
e-mail: gazoku2@gmail.com

■印刷所

城島印刷株式会社
〒八一〇一〇〇一二
福岡市中央区白金二一九一六